

**製品名: E-セレクチンウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10626**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	66kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SELE ELAM1
別名	selectin E
遺伝子 ID	6401.0
SwissProt ID	P16581
免疫原	抗血清は、ヒト SELE の N 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 100-150

**背景**

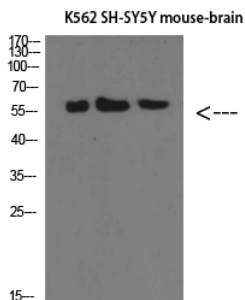
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、サイトカイン刺激を受けた内皮細胞に存在し、血管内層への細胞接着を媒介するこ

とで、炎症部位への白血球集積に関与していると考えられています。このタンパク質は、レクチン様ドメインおよび EGF 様ドメインに続いて、6つの保存されたシステイン残基を含むショートコンセンサスリピート (SCR) ドメインを有するなどの構造的特徴を示します。これらのタンパク質は、細胞接着分子のセレクトリンファミリーに属します。接着分子は白血球と内皮細胞の相互作用に関与し、アテローム性動脈硬化症の病因に関与していると考えられます。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能: 免疫接着に関与する細胞表面糖タンパク質。PSGL1/SELPLG との相互作用を介して、サイトカイン活性化内皮細胞における好中球の接着を媒介します。毛細血管形成に関与している可能性がある。、オンライン情報: E-セレクトリン, 多型: 149番目のアミノ酸配列の多型は、冠動脈疾患 (CAD) の発症リスクの上昇と関連している。血管造影検査で重度の動脈硬化症と診断された患者では、無作為抽出された集団 (Ser-149) と比較して、Arg-149 の変異頻度が有意に高いことが観察されている。、類似性: セレクトリン/LECAM ファミリーに属する。、類似性: C型レクチンドメインを1つ含む。、類似性: EGF 様ドメインを1つ含む。、類似性: Sushi (CCP/SCR) ドメインを6つ含む。、サブユニット: シアリルルイス X エピトープを介して PSGL1/SELPLG と相互作用する。この相互作用には PSGL1 の硫酸化は必要ないと考えられる。、

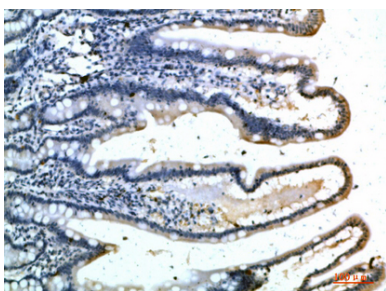
## 研究分野

細胞接着分子 (CAM)

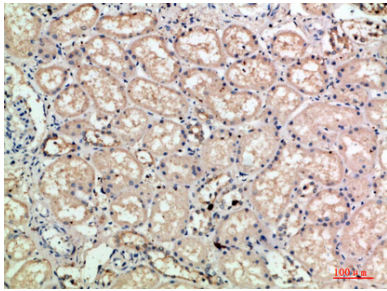
## 画像データ



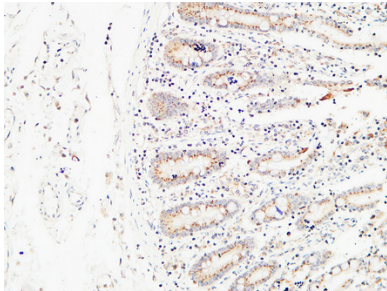
K562 SH-SY5Y マウス脳細胞のウェスタンブロット解析。E-セレクトリンポリクローナル抗体を 1:500 に希釈した。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



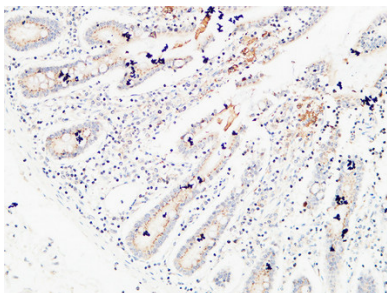
パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



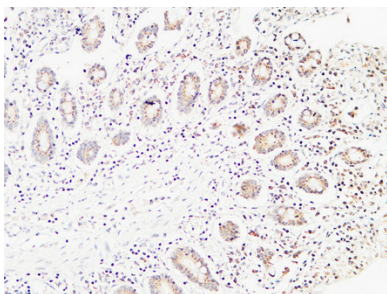
パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



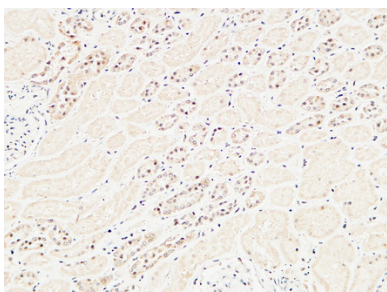
パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



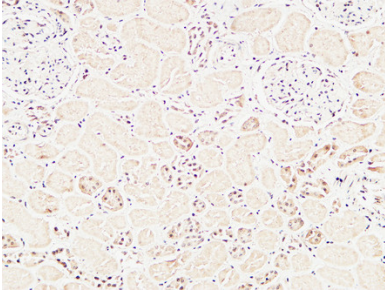
パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



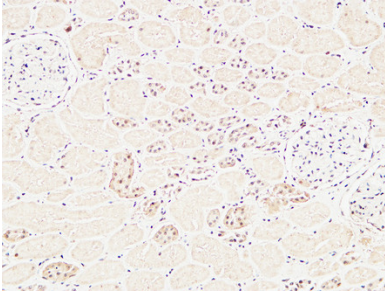
パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。